

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子



学校通信No. 6

令和5年5月 2日

伊丹市立伊丹小学校

校長 磯田 かおり



温かい見守りと明るい挨拶 感謝！！

生活委員の高学年が正門で挨拶をしています。また緑や赤のジャンパーのスマイルスタッフさんや少年補導委員さん、その他たくさんのスクールガードの方々に登下校の見守りをしていただいています。お陰様で笑顔いっぱい気持ちよく一日を始められています。



共生社会の形成に向けた 本校のインクルーシブ教育システムについて

大人も子どもも誰一人同じ人はいません。得意なことも苦手なことも違います。得意なことや好きなことを伸ばすことと、学習や社会性等における課題について、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる多様で柔軟な仕組みの整備に努めています。全ての子どもの自尊感情向上を目指します。

特別支援学級担任による支援

通常学級を生活の基盤に、必要に応じて特別支援学級で個別や少人数で個に応じた学びを進めることで、社会的な自立に向けた力と自信をつけることを目指しています。特別支援学級担任だけでなく全ての教職員が連携して、きめ細やかな指導、支援に努めています。

お子様の発達や特性等について、ご心配なことがあればいつでも担任や本校の特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

通常学級

通級指導教室での担当教員による支援

今年度より本校が市内17小学校の拠点校6校のうちの1校になりました。ビジョントレーニングやソーシャルスキル等、学習や社会性のつまずきの根本に対する指導や支援を個別に行います。週に1時間程度別室で学習します。

パワーアップタイムによる学習保障

様々な理由で学習に躓きがある場合、少人数でじっくりと補習し自信をつけるために、昨年より水曜日の5校時終了後、学習保障の時間(パワーアップタイム)を設けています。誰一人取り残さないように、全教職員で子どもたちに向き合います。今年度も新しい学級でしっかり子どもたちの状況を把握し、保護者と相談して6月からスタートします。

特別支援教育支援員

通常学級で必要に応じて学習等の支援を行います。各校に1名のみの配置です。

スマイル教室での居場所づくり

本校では、登校しぶりのある子どものための一時的・短期的な居場所づくりに努めています。学校に行きにくい理由に、集団での人の視線や音や声が苦手で不安な場合があります。まずは、静かな教室で心を落ち着け、不登校対策支援員と校内登校支援担当、学級担任と保護者との連携により、子どものニーズに合わせた必要な支援を探り、自己肯定感の向上を目指します。

通常学級担任による支援

だれもが分かりやすい授業の工夫や、見通しをもち安心して学んだり落ち着いて取り組んだりできる環境整備に努めます。